



# 希望の丘

発行：加戸・公園台地区まちづくり協議会

たくさんのご参加、ご来場に感謝

2023年大いに賑わいました!

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置付けられ、まだまだ予断は許されない状況ですが、徐々に以前の日常生活を取り戻しつつあります。当まち協でも'23年は4年ぶりに従来と遜色ない事業活動に取り組むことができました。

地域皆さまのご理解、ご協力を頂きどの事業もたいへん多くの参加者でかつてなかったような大盛況となり成功裏に収めることができました。ありがとうございました。

'24年も役員・部会員一丸となって住みよいまちづくりに努めます。よろしくお願いします。

～加戸・公園台地区まちづくり協議会 役員・部会員一同～



加戸・公園台まつりにて

大盛況!

# まち協「Big2」イベント



祭

「七夕茶会と子ども縁日」「加戸・公園台まつり」は、当まち協を象徴する“2大イベント”です。この3年間はコロナ禍ということで、中止あるいは規模縮小を余儀なくされてきました。

新型コロナウイルスも少し落ち着いてきた今年度は、4年ぶりに以前同様の企画内容で開催することとなりました。両イベントとも従来以上の来場者で大賑わいとなり、関係者一同ほっとしました。ご来場ありがとうございました。



地元産スイカのサービス



綿菓子・ポップコーンのサービス



7月  
8日

## 七夕茶会と子ども縁日



天の川手形アート

「七夕子ども縁日」のみの規模縮小で開催を続けてきましたが、今年は「茶会」と加戸地区区長会提供による「スイカ&スイートコーン」大盤振る舞いが復活しました。併せて笹飾り、縁日ゲーム、織り姫・彦星を結ぶ手形アートや綿菓子・ポップコーンのサービス等々で、これまで以上の賑わいとなりました。



4年ぶりの七夕茶会



園児のダンスショー



好評の健康マッサージ

## 加戸・公園台まつり

10月  
29日



「ふるさと坂井」入賞作品展



三國中・三國高生による合同演奏

3年ぶり開催の昨年はまだまだ従来の内容とまではいかず少々消化不良気味でしたが、今年の「まつり」は全開となりました。人気メニューの手打ちそば、健康マッサージをはじめ園児・児童、三國中・三國高生や市職員によるステージアトラクション、コミセン利用者・児童の作品展、消防・自衛隊の色々体験などてんこ盛りの内容を用意しました。

イベント目白押しの中、予想を超えたご来場を頂き売り切れ続出、各コーナーともうれしい悲鳴を上げていました。ご協力、ご来場の皆様に感謝いたします。



自衛隊 & 消防の体験・展示



園庭をのむ福引き抽選



久々の手打ちおろしそばを堪能



# 癒し&賑わいを ご賞味いただけましたか！

当まち協が地域住民の皆さんに“癒しと賑わい”を届けようと、こつこつ続けているイルミネーション飾りと四季折々を彩る花々の花壇づくり。おかげさまで今年度もなんとか例年同様の仕上がりとなりました。

認知度も徐々に上がり観に来られる人も増え、高評価・お褒めの言葉を頂きました。労がねぎらわれた思いと次への励みとなります。感謝申し上げます。

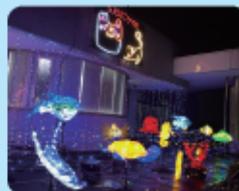
お待たせ！

## 冬の風物詩 ～イルミ de 夜の水族館～

12月・1月



点灯スイッチは壁面作者



「いつから点灯？孫連れて観に来るわ」「毎年観に来てます」「今年は何の絵にするんですか」「年々豪華になるみたい」準備中によく声をかけられました。立体イルミの配置や向きの変更、撮影スポットを作ったり、子どもたちのデザインを取り入れた壁画を描くなど工夫を凝らしました。

17時～21時、1月末まで点灯予定です。ぜひご鑑賞ください。

魅せました！

## 四季の彩り

～まち協花園～

まち協“ひまわりの郷づくり”事業の一環として取り組み始めたひまわり畑、より楽しくて魅力あるひまわりにしようと、時期と花色で他所との差別化を図り毎年テレビニュースでも取り上げていただいています。

今年は猛暑続きで生育不良でしたが、たいへん多くの鑑賞者で賑わいました。ご来場ありがとうございました。その陰には酷暑での播種があるのです。



すっかり定着！?

いろいろ  
秋色ひまわり) 9月



子どもたちとの記念撮影



猛暑の中咲き誇る花壇の花々

## 花々のお出迎え&おもてなし 3月～11月

爽やかなプラチナムブルーのネモフィラ、「花の宰相」芍薬、花壇を彩る春夏花の数々、こぼれ種でも席卷するカモミールやひなげし、今年もひまわりばかりでなくまち協花園は四季折々の花々で賑わいました。

コミセンに来館・来場された多くの皆さんにも足を止め鑑賞していただきました。



青いじゅうたんのネモフィラ

花苗の一部は子どもたちの教材として提供させていただきました。

また、まち協花園は今年度の「坂井市花壇コンクール（広域部門）」で「最優秀賞」をいただきました。



おすそ分けの花は1年生の教材に



# まちづくりは防災・防犯から！ 過去の大震災から学ぶ



## 被災者が伝える災害の 実態と心構え

7月  
23日

～ 東日本大震災 ～

今でも人々の脳裏に強く焼きついている東日本大震災、平成23年3月11日に発生した日本国内観測史上最大規模M9.0（1900年以降世界でも4番目の規模）の大地震でした。

「三国地区まち協連絡会連携事業」として東日本大震災被災者の方から、大災害の実情と今も引き続く苦悩の実態、そして日頃からの備えと心構えをお聴きしました。

語りべによる講演では、犠牲者の無念や苦悩・罪悪感を抱えている遺族の悲嘆を体験者同士で分かち合う「グリーンケア」活動の取組みについてお聴きました。

また、パネルディスカッションでは、各パネラーから近年の地震被害の状況や日頃からの備えと心構えについて説明・紹介していただきました。

今回は「心の復興」「震災伝承」の大切さを考えさせられる講演会でした。



## 思い知る自然の脅威と 絆づくりの大切さ

11月  
26日

～ 阪神・淡路大震災 ～



平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災はM7.3、最大震度7を記録する大地震で死者6,434人、全半壊家屋約25万棟にも及ぶ大災害でした。

被災体験を元に当時の様子や今後の備え・心構えなどを学ぶため北淡震災記念公園の視察研修を実施しました。語りべによる講話では、災害発生時の行動の難しさや避難所の状況・諸課題等をお聴きしました。また、断層による様々な地形の変化など地震のエネルギー・自然の脅威を思い知らされました。

今回の研修では、抗うことのできない自然災害においては人間関係・絆づくりが大切であり、日頃からの地域づくり・まちづくり活動を通してのコミュニケーションの醸成が重要であると感じました。



10月  
1日

## HUG(避難所運営演習)研修



大災害が発生し、避難所開設を余儀なくされた場合どのような難題・課題に向き合うことになるのか、そしてどのように対処したらよいのか。“震度7の地震が発生し加戸小学校に避難所を開設”との想定で、避難所運営の模擬体験をしました。

体験したのは、実際に主体となって活動することとなる区長とまち協役員・安全安心部会のメンバーで、坂井市防災士の会の皆さんの指導の下、避難所のレイアウト、名簿作成、物資の受け入れ・配給の段取りをはじめ、トイレ、風呂、ごみなど過去の災害で実際に直面している様々な出来事への対応となりました。

ライフラインが寸断され様々な事情を抱えた避難者が集まってくるという悪条件の中、臨機応変かつ適切な解決策を見出すことが求められます。参加者は、あらためて避難所運営の難しさを痛感したようです。一昨年に参加した方の要望で実施した2回目の研修でしたが、今回も有意義で成果があったようです。





# 見守り&声掛け運動



6月・7月



学童の見守り活動として、地域の各種団体が早朝あいさつ運動を実施していますが、当まち協も加戸小学校で登校時のあいさつ声かけ運動を行いました。明るい笑顔と元気な声が返ってくると一安心です。

7月・8月



‘ドアロックのし忘れ’ちょっとした油断と心のすきが禍をもたらします。学童野球・バレーボール大会の会場で、坂井西警察署の協力を頂いたチラシを配布し、車上荒らしの注意喚起の声掛けを行いました。

4年ぶりの開催



## まち協も共催 敬老会



10月15日 加戸地区

9月3日 公園台地区



すこやか加戸のつどい



公園台地区敬老会

長年にわたり地域のために尽力・活躍されている高齢者の皆様に敬意と感謝の気持ちを込め毎年実施していた敬老会ですが、ここ3年間はコロナ禍により中止あるいは形式を変えての“敬老事業”となっていました。ウィズコロナの日常が浸透してきた今年度は、少々の規模縮小となりましたが加戸・公園台両地区とも区長はじめ民生委員・福祉委員など地域の多くの方のご協力により、4年ぶりに敬老会を開催できました。人生100年時代の現在、地域の皆さんが寄り添い支えあいながら笑顔で生きがいのある生活を送ることが求められています。短い時間でしたが、久しぶりの開催とあって同窓会のような賑わいとなっていました。

9月22日

## 「終活」について考えてみませんか



人はいつかは人生の最期を迎えることとなります。

「終活」は、残された遺族に負担をかけないように、様々な準備や人生の総括に取り組むことです。言い換えるなら、残りの人生を前向きに考え、老後の生活を豊かにする取組みでもあります。

今回、三国地域包括支援センターの出前講座として(株)アスピカ一級葬祭ディレクターの友田美夕紀氏を講師にお招きし、終活の目的や準備、留意点などについてお聴きしました。

講座では、「エンディングノート」の内容や書き方を具体例にお話しいただきました。今まで興味はあったが具体的に何をどうしたらよいのか、どんな効果があるのか悩んでいた参加者もおられたのではないのでしょうか。

この講座で何となく終活のことが身近なことに感じられるようになったのならよかったです。



エンディングノートの例





# 楽し美味し

# いろいろ体験



7月  
22日

## かまぼこ作り& 発電所見学



仏原ダムの見学

身近にありながら意外と知らないことがたくさんあります。お馴染み練り製品の「かまぼこ」ですが、原料や製造工程は意外と知られていません。また、再生可能エネルギーである水を利用した水力発電についても、その仕組みや施設機械はあまり理解されていません。

そこで「楽しく・美味しい」体験をしながら「なるほど」を学ぶ「かまぼこ作り&発電所見学体験学習ツアー」を開催しました。

かまぼこ体験では、工場での製造工程を見学した後、いざ板かまぼこ・蒲の穂作りへ、簡単そうに見えた職人さんの美演でしたが実際に挑戦してみるとこれが結構難しく皆さん苦勞していました。出来上がりはお土産にお持ち帰りしましたが、中身は一級品で、「美味しかった」と評判上々でした。

水力発電所では、なかなかお目にかかれない発電所内部の大きな発電機や送電施設、ダムなどを間近に見学できました。発電所で働く方のご苦勞を知り、電気のありがたさや大切さを再認識しました。



西勝原第三発電所の見学



安田かまぼこ道場  
工場見学&かまぼこづくり



秋の旬の味覚はやはり“ぶどう”です。当まち協では、春の“いちご”とともに家族・友人で摘み取りを体験しながら「食育・交流」を考える機会の一環としてぶどう狩りを企画しました。

猛暑の影響で生育が不順となり、大幅な行程変更となりましたが、満員御礼の参加者で大いに賑わいました。

汗をふきふき大物を見極め摘む人、バケツ一杯の摘みたてをほおぼり団らんを楽しむ人、スマホ撮影に夢中の人などなどたわわに実ったぶどう棚の下で各人が展開されていました。



9月  
10日

## 食育交流ぶどう狩り



急遽変更で「どんぐり山観光農園」へ  
たわわな4種類のぶどうが待っていました

11月  
22日

## 越前カンタケ栽培講習



ひと月もするとこんなに発生します



福井県特産「越前かんたけ」の栽培講習を開催しました。毎年恒例、簡単手軽でメリット多い事業とあって、頃合いを見計らって問い合わせが寄せられるほどひそかに人気の企画となっています。

プランターに菌床を置き鹿沼土で隙間を満たすだけという簡単セット、暗所での適度な水やり管理で1月もすると食卓に！

ベテラン摘みの参加者はテキパキとセッティングを完了し、早々に家路へと持ち帰っていきました。この希望の丘が出る頃には……。

# ちびっ子も いろいろ体験

子どもたちに食への関心と健全な食生活を育む「食育」の一助にと、園児を対象に「一寸そら豆」「じゃがいも」の収穫体験、児童を対象に「そば打ち」体験を実施しました。



ふれあい農園  
収穫体験

## 12月 10日 秋作じゃがいも編

今夏の猛暑の影響で大凶作の「秋作じゃがいも」となっていました。また、晩秋の天候不順も重なり、園児の自由参加での収穫体験を余儀なくされました。

収穫したのは赤いジャガイモで収穫量もそれなりでしたが、スタッフが掘り起こした株から我先に収穫する光景には変わりありませんでした。

6月  
7日-9日

## 一寸そら豆編

実のつき方、摘み時の合図や摘み方の説明もそこに子どもたちはそら豆のもぎ取りを始めます。一本の豆の木にいくつもの手が群がり、抱えきれないほどを持ちます。

今回の参加者は、加戸幼稚園・三国松涛こども園の園児たちです。さぞかし収穫の喜びを実感したことでしょうし、食育の効果もあったのではと期待しています。



加戸幼稚園くま組さん



三国松涛こども園くま組さん



## 12月 22日 そば打ち体験



上手な包丁さばきでのネギ切り

放課後子ども教室とのタイアップ事業として恒例の「子どもそば打ち体験」を今年も開催しました。低学年主体の参加者ですが、まち協応援隊のベテランが見事な指導力を発揮し、皆さん満足のいく出来栄となりました。

打ったそばは、その場でおろしそばにしていただきました。お替り続出で一筋残らず完食となり良かったですが、夕食が心配されました。



二人で協力、皆さん大人顔負けの上手な手さばき

# ジャンボ恵方巻き

# 子ども節分会2024



日時/場所

2月3日(土) 午前9時30分～ 加戸・公園台コミュニティセンター  
9:30 開場 10:00 ジャンボ恵方巻きづくり 11:30 福豆菓子まき

イベント  
内容

- ★ジャンボ恵方巻きづくり (定員 50 人) ※低学年以下は保護者をお願いします。
- ★福豆菓子まき (参加自由)
- ★鬼を描こう! (参加自由) ※ぬり絵・恵方巻きづくり参加者には綿菓子 or ポップコーン券の特典付き!  
※なくなり次第終了

小学生以下

恵方巻きづくり申込み

1月22日(月)～ 加戸・公園台コミセン(82-0356)



# 募集

## ～ えち鉄に乗って出かけよう! ～



日時 2月25日(日)  
参加費 500円(食費は含みません)

行先 勝山市(奇祭「勝山左義長まつり」外)  
募集人数 20人  
申込み 加戸・公園台コミュニティセンターまで

※行程等詳細は後日参加者にご連絡します

# 紹介! まち協川柳



昨年度、まち協主催の各事業に参加していただいた皆様に感想を「まち協川柳」で詠んでいただきました。イベント時に行った投票による入賞作品を紹介します。皆さんのNiceなsenseに感服しました。

2023版

## 優秀賞

さいがいは じぶんをしんじ ひなんなり  
 ぼうさいは いのちをまもる だいいっぽ  
 風吹けば ラニーニャ 台風雪を呼ぶ  
 防災は 正しい自然の 知識から  
 気象予報 年々エリアの 精度増す  
 たのしみな シイタケ顔出す 三年後  
 とり放題 子供はいちご ママ写真  
 はら一杯 そこから勝負だ いちご狩り  
 コロナでも たのしいイベント 見つけたよ  
 幼子の 短冊に微笑む 天の神

## 優良賞

さいがいは どこでもおきる ちしきもつ  
 よくわかる 気象の話 村田さん  
 村田さん 実物イケメン テレビより  
 あられやこん シャレにならない ひょうポール  
 咲くまでが 花かも知れぬ 人の世は  
 長生きした まわりにはともだち だれもなし  
 ポケ予防 パズルナンプレ ただの趣味  
 ポケません 今日聴いた極意 会得まで  
 ひ孫からの 誕プレあけたら まごの手が  
 100本の ローソクふいても めまいせず  
 近頃は 孫との手つなぎ 支え合い  
 認知症 パーコードに衛星 警護付け  
 収穫の醍醐味 孫にさらわれる  
 子供たちの 笑顔あふれる いちご狩り  
 もうだめと いう子の口に いちご詰め  
 コロナ禍の ストレス発散 いちご狩り  
 右手くち 左手次摘む 二刀流  
 あたるかな おっきいスイカ たべたいな  
 孫の奥 密かに結わえる 我が願い  
 すぐその 満月探せぬ 望遠鏡  
 四苦八苦 右往左往の 星眼鏡  
 望遠鏡 月とらえるだけで ドライアイ



## 佳作

怖い気象 ゲリラにセンジョウ パクダンも  
 在宅で 看られる覚悟 いつ決めようか  
 桜散る 人の命も 散るように  
 前向きに 生きて桜と 手をつなぐ  
 願うのは 感謝感激 大往生  
 ピンころり 万に一つの 絵空事  
 秋の日や カンタケうえて なべ思う  
 出きるまえ レシピいろいろ 頭の中  
 初体験 友にさそわれ ウキウキよ  
 春風の なれない手つきで きんうちを  
 こまうちより 友人の話に 花が咲く  
 春の日に しいたけ駒打ち 期待する  
 雪とけて しいたけめぶく こまうちず  
 春の味 甘くて赤い いちごかな  
 いちごたち てれてお顔が 真っ赤っか  
 苺狩り 連れは居るけど 会話無し  
 おとうとと はじめてきたよ いちごがり  
 いちごがり まごのほっぺも ふくらむよ  
 加戸コミで 星座ランタン つくったよ  
 完成の うれしさわかっ 父子共に  
 空をみる 子のとなりでは 月見酒  
 おやまかせ こうさくしない 子どもたち  
 送り火に 五色のねがい 天に舞う  
 熟年の 短冊に苦笑 天の神



## 加戸、公園台地区の人口

人口総数 4,709人 (単位 人)

	男		女		計	
	R6.1.1 人口	R5.4.1 増減	R6.1.1 人口	R5.4.1 増減	R6.1.1 人口	R5.4.1 増減
加戸	1,142	-12	1,263	2	2,405	-10
公園台	1,137	-7	1,167	-4	2,304	-11
計	2,279	-19	2,430	-2	4,709	-21

## 編集後記

新年おめでとうございます。

年頭にあたり気分一新、意気込んで抱負でもと思いきやまさかの震度5に見舞われ、自主避難所開設に大わらわの元日となりました。そしてまだまだ記憶に新しい語り部さんの貴重な体験談が脳裏をよぎりました。震源地の能登では震度7を記録し、多くの死傷者、建物の損壊・焼失など大災害となっています。被災者された皆様には心からお見舞い申し上げます。  
 人々の日常生活も徐々に落ち着きを取り戻してきたようです。地域住民のコミュニティ意識が段々薄れつつある中、昨年のまち協各事業は予想以上の盛況を頂き、正直ホッと胸撫でしています。  
 本年も総力で創意工夫を凝らした事業活動に努めますので、引き続きご支援、ご理解のほどよろしくお願ひします。(びゅ〜ろっ)

